

コンテンツ及びランキングの根拠について

当サイトのランキングでは、内容ごとに検証項目を作成し専門家の分析を伴うユーザーファーストの情報を発信しています。

数値化した客観性の高い評価基準を採用しており、メリット・デメリットがより分かりやすく伝わるランキングになる様に努めています。コンテンツ内で参考にする体験談や口コミは、一定の基準に基づき信頼性の高いものを取り上げています。

◎ランキングの根拠となる評価方法

ランキング内容に基づくユーザーの知りたい各商品の効果、特徴を評価項目として総合評価を算出し、5点満点でスコア化しています。各項目について分析、情報収集、検証を行い最終的なスコアを基に、ランキングを作成しています。

総合点は5つの要素で構成されています。算出方法は以下の通りです。

	評価内容
成分	<ul style="list-style-type: none">・刺激の強すぎる成分が含まれていないか・髪をいたわる成分の種類や分量・浸透補修成分や外的ダメージのケアをする成分は入っているか・頭皮トラブルを防ぐ保湿成分は充分か
機能性	<ul style="list-style-type: none">・ヒートアクティブ効果はあるか・香りはどうか・髪質の悩みに合った仕様になっているか
使いやすさ	<ul style="list-style-type: none">・テクスチャー・髪なじみはどうか
仕上がり	<ul style="list-style-type: none">・ツヤ、手触り・悩みの改善につながっているか・頭皮に違和感はないか
価格/入手のしやすさ	<ul style="list-style-type: none">・コストパフォーマンスはどうか・割引があるか・市販されているか、ネット販売か

◇評価項目の調査方法

設定した評価項目は、以下の様な内容に適した調査・検証方法を複数取り入れ評価を行っています。

①品質表示の解析

専門家の視点から、成分の種類や含有量がユーザーのニーズに応えるのに十分なものかどうか、品質表示、商品情報を基に商品使用時の実効性を分析しています。

例:美容室系おすすめシャンプーランキング

- ・洗浄成分のバランスはどうか
- ・ヘマチン、加水分解ケラチンなどが配合されているか
- ・主剤はアミノ酸系かどうか

②商品の検証

編集部にて実際の商品を多角的な視点で検証を行います。

専門家のアドバイスやユーザーの意見なども取り入れた「知りたい」情報をピックアップして、白髪の染まり具合、放置時間、使いやすさ、価格、手に入りやすさ、などランキング内容に沿った、ユーザー目線の検証をしています。

③モニター調査

一般モニターに依頼して、公式ホームページなどの情報をもとに商品の評価すべきポイントを複数取り上げ、独自調査を行います。モニターの髪の毛の悩みや髪質がランキング内容と合致しているかなど、より実効性の高い意見や多数のモニターが体験した意見を積極的に採用し、反映させています。

④インターネット調査

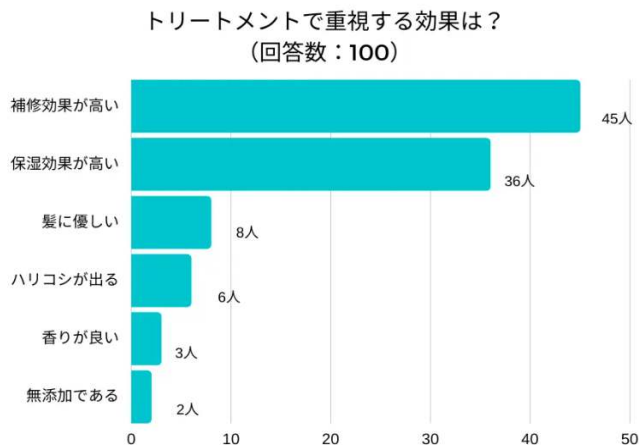
より多くの幅広い意見を参考にする場合や商品の一般的な印象を調査する場合、又は中・長期の使用による変化を調査する場合は、当サイトに寄せられるご意見や公式サイト及びインターネット上の体験談を参照にしています。

※インターネットによる調査例:「トリートメントで重視する効果は？」

調査対象	10代以降の女性
調査日	2023年1月
調査主体	株式会社AWA
調査方法	インターネットによる任意回答
調査人数	200人(女性200人)
調査レポート	https://haircare-talk.com/haircare-80/

・ 調査結果サマリー

「トリートメントで重視する効果は？」とアンケート調査した結果、1位は『補修効果が高い』でした。



◇総合評価の算出方法

①評価項目の設定

ランキング内容ごとにユーザーの求める仕上がりを叶える要因は何かを精査し項目を設定します。下記例のように、多角的な視点でのバランスの取れた評価項目になるよう考慮しています。

例:アウトバストリートメント美容師おすすめランキング

- | | | |
|--------------|---------------|--------------------|
| ○専門家による分析 | ○編集部による検証 | ○モニター、インターネットによる調査 |
| ・コーティング成分の分析 | ・機能性 | ・使用感 |
| ・オイル成分の種類 | ・まとまり具合 | ・印象 |
| ・保湿成分 | ・ドライヤーやコテとの相性 | ・ビフォーアフター |
| ・刺激成分の有無 | ・価格、コスト | |

②スコア化の検証方法・基準を設定

成分の含有量や種類を分析し、実効性を客観的に判断し、スコア化します。
分析の詳細を評価理由として記録し、ユーザーのメリット・デメリットと共に掲載しています。
数値の計測が可能な項目であっても、平均値を基準にするのではなく、その値で満足感が得られるものかどうかをスコア化の基準としています。

③加算ポイント事項を設定

カラーバリエーションや機能性など商品のメリット、アロマセラピストによる香りの評価や口コミ・体験談で評価の高い点をポイントとして加算します。

例:ヘアアイロン人気ランキング

- ・ストレート・カールに対応しているか
- ・コンパクトで持ち運びができる
- ・髪のダメージに配慮しているか
- ・立ち上がりの時間はどうか

④総合評価を算出

ランキング内容ごとに肝心な項目がよりスコアに反映される様に、単純なポイントの足し算による算出ではなく、比重をつけて計算します。最終的に、②でスコア化した項目に、③のポイントを加算して総合評価を算出します。